

6月11日(日)平戸市少年の主張大会 堂々と思いを伝えることができました!

「チャレンジできる平戸を目指して」

6年 銀●屋 ●歩

第18回平戸市「少年の主張」大

6月22日、田助小学校では、今年度の田助ハイヤ節の放課後練習が始まります。田助の町は地域の行事がたくさんあり、みんなが協力して暮らしています。私も、色々な地域行事に参加してきました。例えば、学校のみんなと田助ハイヤ節の練習をしたり、鬼洋蝶を作って凧あげをしたり、餅つきをしたりしました。人々との交流がとても盛んな地域です。私は楽しく仲がいいこんな田助の町が大好きです。この町の伝統や交流がずっと続いてほしいと思います。

しかし、こんなに素晴らしい地域にも現代社会の課題となっている「人口減少」という問題が押し迫っています。6年生になり、社会科の学習で

「人口減少」について学びました。都市部以外の地域は人口が減少していることがわかりました。平戸市の人口も年々減少し、今では3万人をきっています。景色がよく、歴史的史跡もたくさんあり、町の人たちが優しいところが平戸のいいところだと思います。私の住む田助でも人口減少を実感できることがあります。私が入学したときの田助小学校はどの学年も、1クラスずつありました。しかし、今では私のクラスを含め、複式学級が2クラスになり、児童数も年々減少しています。田助の保育園も数年後には閉園することが決まっているようです。保育園が無くなると田助小学校に入って来る1年生が少なくなることは間違いありません。この人口減少が続くと、学校も無くなり、田助の伝統や地域性を継承していくことは難しくなります。これはとても悲しいことです。

では、この「人口減少」を防ぐためにどんなことをしていく必要があるのでしょうか。人口減少の一番の課題は、若い人たちが住まないということです。なぜ、若い人たちは平戸に住まないのでしょうか。その原因は、働く場所が少なく、個人の収入が少ないことだと考えます。収入が少なければ結婚して子どもができたときに安心して育てられません。また、お年寄りが多い平戸で親の介護をしたり、病院へ連れて行ったりするのもお金がかかります。若い世代がお金を稼ぐことができる環境がなければ、誰も住もうとは思わないでしょう。

働く環境をつくるための方法をいくつか考えてみました。例えば、「イベントを企画して平戸に人を集める」「観光客を集めるためのプランを作る」「観光地までの交通を整備する」こうすることで平戸に人が集まってきます。そこに働ける環境も生まれ、平戸の魅力に気付いた人々が平戸に住みたいと思うはずですが、これにもお金がかかります。難しいのは資金を集めることです。ご存じのように数年前、平戸市はふるさと納税日本一となりました。そのことで、私たち子どもにも ICT 機器の整備がされたと聞きました。まさにそれはチャレンジする平戸市の取組だったと思います。

そして、今、平戸市の新たな形として「クラウドファンディング」を提案したいと思います。クラウドファンディングとはインターネットを介して不特定多数の人々から少額ずつ資金を調達することです。

「こんなことをしたい」「こんなものを作りたい」「こんなサービスを試したい」と思った時に共感できる人に応援してもらえるし、手軽に活用できる仕組みだと思います。資金を支援していただいた人にも平戸に興味をもってもらえ、一石二鳥になる取り組みだと思います。インターネットを使うので、日本だけでなく世界の人にも知ってもらおうきっかけになると思います。クラウドファンディングで集めたお金で、人々を集め、平戸でお金を稼ぐことができる仕組みが完成します。そして「チャレンジできる平戸」として世の中に知れわたります。人々がしっかり働ける場所ができることで安心して子育てや介護もできる環境が整うのではないのでしょうか。

これらのことをすぐに行うことは難しいことだと思います。しかし、人口減少を防いでいく手立てを平戸市民全員が考えていくことで、未来の平戸が明るくなっていくはずですが、そのためには、協力してチャレンジする人を支えていくことが大切だと思います。チャレンジしたい若者をみんなで応援できる平戸であってほしいと思います。私たちの町を存続させ、伝統を守っていくためにも、「チャレンジできる平戸」を合言葉に、みなさんと平戸の未来を切り開いていきましょう。

